令和７年度自己点検・自己評価のまとめ　　仙台市医師会看護専門学校

目　　的：本校の教育活動と運営状況について、自ら評価をおこなうことにより運営の改善点を明らかにし、教育水準の向上のために組織的・継続的な改善を図る。

目　　標：１．評価項目から、評価の視点が分かる
２．自己の教育活動を振り返る
３．改善点が見いだされ、今後の教育活動に活かすことができる

評価期間：令和７年４月～令和７年12月

実施対象：教員１５名、事務職員５名　計　２０名（常勤者のみ）

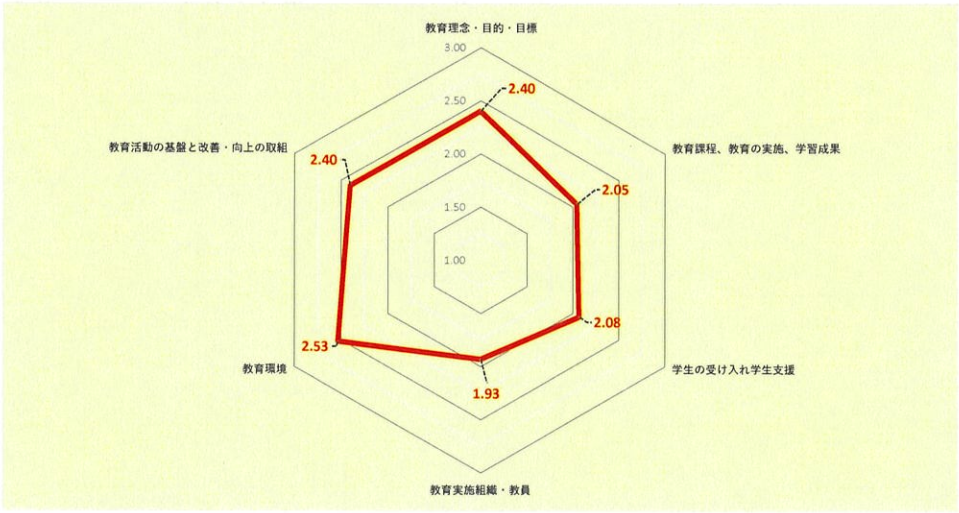
調査期間：令和８年１月７日（水）～１月14日（水）

評価基準：　3：基準を満たしており、特筆すべき取り組みをおこなっている
2：概ね基準を満たしている
1：基準を満たしておらず改善が必要

留 意 点：１．評価の理由は評価の段階1～2の場合、必ず記入してください
２．①～⑲の項目（④、⑤は除く）すべてを評価してください

表１　集計結果　大項目平均

	項　　目	評価合計	設問数	平均
項目１	教育理念・目的・目標	2.40	1	2.40
項目２	教育課程、教育の実施、学習成果	4.10	2	2.05
項目３	学生の受け入れ学生支援	8.30	4	2.08
項目４	教育実施組織・教員	5.80	3	1.93
項目５	教育環境	7.60	3	2.53
項目６	教育活動の基盤と改善・向上の取組	9.60	4	2.40



【項目４】教員の要件については適正に運用されているが、多重業務や急な業務分担の変更により教員の負担が増えている。学年を超えた情報共有と連携の体制の構築、一部の教員に負担感を与えないような組織としての工夫が必要である。